

埼玉県生協連メールマガジン Information

2020.10 発行

2020 年度 4 月より、埼玉県生協連および会員生協の取り組みと
埼玉県生協連の月度のまとめを、月 1 回 PDF 配信しています。
ぜひご覧ください。

目次：埼玉県生協連 9 月度まとめと今後の課題	P 1-10
写真ニュース秋号	P11-12

埼玉県生協連 9 月度まとめと今後の課題

2020 年 10 月 7 日

埼玉県生協連専務理事 吉川尚彦

1. 全体状況

(1) 第 2 回常務理事会

9 月 3 日(木)、第 2 回常務理事会を開催しました。第 3 回理事会の議案審議、会費減免に関する事項などについて協議しました。

(2) 第 2 回監事会

9 月 8 日(火)、第 2 回監事会を開催しました。会長理事との懇談、8 月度終了時点の決算状況、第 3 回理事会議案監査、監事監査基準の検討、埼玉県内生協監事研修・交流会のふりかえりを行いました。

(3) 第 3 回理事会

9 月 17 日(木)、第 3 回理事会を開催しました。大学生協の 2020 年度会費減額の件の議決したほか、埼玉県生協連賃貸物件の縮小に関する報告などについて協議を行いました。

(4) 埼玉県内生協監事研修・交流会

9 月 2 日(水)、埼玉県委託事業として埼玉県内生協監事研修・交流会を開催し、6 生協 19 人が参加しました。研修では監事の職務の基本、監事の責務(監事監査の目的)、監事の権限、法的な責任について説明をいただき、その後、実際に監査を行っていく上で必要なことを中心に学びました(別紙 1)。

(5) 助け合い活動交流会

9 月 18 日(金)、埼玉県委託事業として助け合い活動交流会を埼玉会館ラウンジで実開催し、各生協の福祉助けあい活動に関わる組合員・職員 26 人が参加しました。JA 埼玉県中央会の浦野瑞希さんに JA が取り組む「助けあい」組織と活動について、全国の取り組みの概要と、埼玉県内での取り組みについて報告いただき、さらに各生協のたすけあい活動のしくみと活動事例や福祉活動について、コロナ禍での活動の現状や再開状況などについても触れながら報告され、それぞれの活動について理解を深める場となりました(別紙 2)。

(6) 埼玉民主フォーラム、無所属県民会議 2021 年度埼玉県への予算要望ヒヤリング

9 月 18 日(金)、埼玉民主フォーラム(14 時から)、無所属県民会議(15 時から)の 2 会派の 2021 年度埼玉県への予算要望ヒヤリングに参加しました。7 月 30 日に埼玉県に提出した「新型コロナウイルス感染防止対策および 2021 年度埼玉県予算編成ならびに行政執行に関する要望」をもとに、4 項目に整理して要望しました。

(7) 広報・コミュニケーション

写真ニュース秋号(10 月 10 日発行)を制作しました。

2. 分野の取り組み状況

- (1) 第 35 回埼玉県原爆死没者慰霊式第 4 回実行委員会が開催され、ふりかえりと次年度に向けた課題について話し合いを行いました。
- (2) ヒバクシャ国際署名の取り組みが 10 月に行われる国連総会への報告で終了することを受けて、ヒバクシャ国際署名埼玉連絡会に参加する各団体が 4 年間でいただいた署名筆数の集約が行われました。集約の結果、いただいた筆数は約 49 万筆となりました。
- (3) 9 月 7 日、埼玉県委託事業として県内消費者団体全体研修会を、さいたま共済会館で実開催し、13 消費者団体 18 人と 2 生協 18 人、一般 11 人、計 47 人が参加しました。「女性と相続」をテーマに、憲法や法律で権利が守られていても、男女含め意識が変わ

っていない現状とこれからについて、弁護士の堅十萌子さんにお話しいただきました(別紙 3)。

- (4) 9 月 15 日、第 56 回埼玉県消費者大会第 6 回実行委員会を実開催し、基調報告や埼玉県への要請、大会アピールなどについて最終提案し、意見をいただきました。大会当日までの準備(団体活動紹介文・スライド用画像の集約)などについて確認しました(別紙 4)。
- (5) 埼玉消費者被害をなくす会が埼玉県から受託している高齢者等見守り促進事業では、9 月 9 日鳩山町・嵐山町、9 月 15 日三芳町、9 月 17 日春日部市を訪問し、消費者安全確保地域協議会の設置や消費者被害防止サポーター養成講座の開催等について依頼しました。10 月は、越生町、狭山市、富士見市を訪問する予定です。9 月末日現在で、協議会設置は 25 自治体となっています。
- (6) 9 月 30 日、同じく埼玉県から受託している消費者被害防止サポーターフォローアップ研修を「最新の消費者被害を知ろう」をテーマにコーププラザ春日部で開催しました。当日は消費者被害防止サポーター 28 人が参加しました。
- (7) 埼玉消費者被害をなくす会による差止請求の取り組みでは、株式会社 DeNA の第 2 回控訴審が 9 月 10 日に行われ、次回 11 月 5 日判決言渡しとなります。差止請求 0 件(累計 1 件)、申入れ 2 件(累計 5 件)、お問合せ対応は 0 件(累計 14 件)、被害回復の取り組みは、訴訟 0 件(累計 1 件)、申入れ 0 件(累計 1 件)、お問合せ 0 件(累計 5 件)です。
- (8) 9 月 19 日、消費者力アップ講座 Vol11 を「高齢者施設の選び方」をテーマに浦和コミュニティセンターで開催しました。当日は実参加 46 人、オンライン参加 34 人の計 80 人が参加しました(別紙 5)。

3. 行政・諸団体との連携・ネットワーク

(1) 行政

- ① 2020 年度埼玉県消費生活功労者表彰に推薦をした生協関係者 3 人の受賞が決定しました。授賞式は 11 月 10 日に埼玉県知事公館で行われます。なお、埼玉消団連 1 人、埼玉消費者被害をなくす会 1 人も受賞が決定しました。
- ② 埼玉県農林部より、埼玉消団連に依頼があった「埼玉県エコ農業推進戦略改定に係る意見交換」を 9 月幹事会時に実施し、有機農業やエコ農業の定義について、取り組みのすすめ方、学校教育についてなど、多岐にわたって意見が出されました。

(2) 埼玉消団連

- ① 9 月度消団連幹事会を開催し、第 56 回埼玉県消費者大会の基調報告、埼玉県への要請について、県内消費者団体全体研修会の振り返りなどについて話し合い、確認しました。
- ② 市町村における消費生活関連事業調査は締め切りの 9 月末までに 58 自治体から回答を受領しました。未提出自治体に再度提出を依頼し、11 月に向けて集計作業をおこないます。

(3) 諸団体

- ① 埼玉県立大学が呼びかける「地域包括ケアを推進するためのネットワーク会議」本会議および川口地域分科会(オンライン)に参加しています。テーマは子どもの食の支援で、地域拠点、物資の配送、マッチングなどが共通課題であることが明らかになってきました。この会議には、コープみらい、医療生協さいたま、パルシステム埼玉、フードバンク埼玉とともに参加しています。

4. 今後の課題

- ・ 機関運営や各企画については、コロナ感染の状況に応じて、引き続きオンライン活用

など、新しい生活様式に対応した開催を進めます。

- 新春賀詞交換会は中止の判断をしました。今後、中止に伴い検討が必要なことを整理し、実施していきます。
- 上期の決算状況をもとに、2020年度の下期の見通しを作成します。
- 引き続き、会員生協の新型コロナウイルス感染拡大による経営への影響を把握し、支援のあり方について、検討を行っていきます。
- 引き続き、埼玉平和市民5団体懇談会に参加し、埼玉県原爆死没者慰霊式のサポート、核兵器廃絶に関する取り組みについて検討を行います。
- 10月16日第56回埼玉県消費者大会（オンライン併用）の成功と、大会DVDの作成、埼玉県との懇談準備を進めます。
- 10月30日関東農政局と埼玉消団連との意見交換会に向けて準備を進めます。
- 11月27日県内消費者団体地区別研修会での4会場同時開催の準備を進めます。
- 11月19日蓮田松韻高等学校での「マルチ商法・不当表示広告」をテーマにした講座の開催準備を進めます。
- 販売預託商法の原則禁止、詐欺的な定期購入の規制強化、送り付け商法への制度的措置など、特定商取引法や預託法の制度のあり方について学習し、法改正や制度改定に向けた取り組みを進めます。

【現在、開催を予定している会議など】

※ただし、三密（密閉・密集・密接）状態の回避のための措置を条件とし、参加人数制限や、直前での中止判断有。

	名称・会場・定員	開催日	対応
1	第56回埼玉県消費者大会	10月16日(金) 10時30分～12時30分	【オンライン(ライブ配信)】 埼玉会館ラウンジ (実行委員会メンバーのみ実参加) YouTube Liveで配信→ どなたでも視聴できます。
2	関東農政局との意見交換会	10月30日(金) 13時30分～16時00分	【実参加】 さいたま新都心合同庁舎 2号館11階防災対策室1,2
3	埼玉県委託事業 役職員研修会	11月19日(木) 10時30分～12時30分	【実参加】 市民会館うらわ 6階会議室
4	埼玉県委託事業 県内消費者団体地区別研修会	11月27日(金) 13時30分～15時30分	4会場同時開催(埼玉会館、久喜市清久コミュニティセンター、東武バンケットホール上尾、東上パールビルディング川越)
5	埼玉県委託事業 組合員活動交流会	12月2日(水) 10時30分～12時30分	【実参加】 コープみらい コーププラザ浦和

2020年度埼玉県内生協監事研修・交流会報告

1. 報告の趣旨

- (1) 監事の役割と現在の監事監査の進め方などについて、あらためて学び、各生協での監事の活動に役立ててもらうことを目的として、県内生協監事と監事スタッフを対象に研修・交流会を開催しました。
- (2) 当日は、6生協から19人が参加して、監事監査の基本と監査ポイントを学ぶとともに、2つのグループで交流を行いました。

2. 開催概要

日時 2020年9月2日(水) 10時00分～13時00分
 会場 市民会館うらわ7階会議室
 参加者 パルシステム埼玉(4)、生活クラブ生協(3)、埼玉県勤労者生協(1)、さいたま住宅生協(3)、医療生協さいたま(6)、コープデリ連合会(1)、オブザーバー(1) 計19人(県連監事含む)

3. 内容

(1) あいさつ

開会にあたり、埼玉県生協連監事の高藤さん、会長理事の吉川さんからあいさつがありました。高藤さんからは今回の監事研修を計画した目的についてお話がありました。吉川さんからは、それぞれの生協は業務内容や事業規模、組織体制の面で大きな違いはあるが、監事の役割任務のあるべき姿を理解し監査活動に活かしていく場にしてくださいとお話がありました。

(2) 監事研修 講師 日本生協連法務部 土屋良一さん

「監事監査の基本と監査のポイント」と題して、研修を行いました。講師の土屋さんからは、まず監事の職務の基本、監事の責務(監事監査の目的)、監事の基本職務、監事の権限、法的な責任について説明をいただき、その後、実際に監査を行っていく上で必要なことを中心にお話しをいただきました。



(3) 監事交流

研修終了後、2つのグループにわかれて交流を行いました。自己紹介のアイスブレイクの後、交流の中で聞きたいこと、話したいこと、研修の内容についての質問などを出し合いました。交流の最後には土屋さんが各グループから出た質問に答える時間を設けました。



4. 参加者アンケート(抜粋)

- (1) 監事の役割を確認するために定期的な監事に対する研修を開催して欲しい。
- (2) それぞれの生協で新任監事への研修が実施できれば良いが、難しい生協もある。ぜひ、新任のタイミングで、県連主催で監事に対する研修を実施して欲しい。
- (3) 新しい生活スタイルの中で、監査をどうするのか、機関運営をどうしていくのかなど、生協を超えての交流の場は参考になった。

5. 今後に向けた検討事項

- (1) 今回の研修・交流会のふりかえりを行い、多くの生協の監事の改選期にあわせて、研修・交流会の定期的な開催について、監事会で検討していきます。

2020 年度助け合い活動交流会報告

2020 年 9 月 23 日 埼玉県生協連

1. 報告の趣旨

- (1) 埼玉県生協連の各生協の福祉助け合い活動に関わる組合員・職員が集まり、JA の「助けあい」組織と活動について学習し、さらに互いの活動を交流することで、お互いの組織の地域での取り組みへの理解を深める場としました。
- (2) 日時：2020 年 9 月 18 日（金）10 時 30 分～12 時 30 分
会場：埼玉会館ラウンジ
参加：4 生協 26 人

2. 報告の内容

- (1) はじめに、埼玉県生協連専務理事の吉川より、埼玉県内の生協における助け合いの活動の広がりについて、2019 年度は 4 生協 3 万 2285 時間の支援となっていること、その中で特に高齢者への支援が 2 万時間になっており、その役割は「公助」にも近い内容になるのではないかと、また、同じ協同組合の仲間である JA さんの活動報告をお聞きすることで、今後の協同組合間での連携につながる期待を述べました。
- (2) 次に、JA 埼玉県中央会農政対策部の浦野瑞希さんから、JA が取り組む『助けあい』組織と活動について、全国の取り組みの概要と、埼玉県内での取り組みについて報告いただきました。県内では、生協が取り組んでいるような助け合い活動はまだ例がなく、居場所づくりの取り組みがほとんどであるとのことでした。質疑応答では、JA の組合員でなくても、地域の居場所に参加できるのか、コロナ禍での活動の現状について質問が出されました。
- (3) 後半は、助け合い活動のしくみと実際の活動事例や福祉活動について、コープみらい、パルシステム埼玉、医療生協さいたま、生活クラブ生協からそれぞれ説明がありました。コロナ禍での活動の現状や再開状況などについても触れられ、それに関連した質疑応答もされました。



3. 振り返りシートから

- JA の準組合員で、長年農協を利用していますが、介護事業や助け合い活動に取り組んでいることを初めて知った。
- JA さんと一緒に何かできる可能性を感じた。
- 生活クラブ生協のエッコロ制度についてもっと聞きたかった。
- コロナ禍の中で各生協ががんばっていることを実感しました。
- 「100 年人生」について何ができるか、どんな役割を果たせるか一緒に考え合う企画がほしい。

4. 次回に向けて

地域で活動されている JA の方との交流についても検討を進めていきます。

埼玉県委託事業

県内消費者団体全体研修会報告

2020年9月7日 埼玉県消費者団体連絡会

1. 報告の趣旨

- (1) 埼玉県委託事業「県内消費者団体全体研修会」を、さいたま共済会館で開催し、13 消費者団体 18 人と生協 18 人、一般 11 人、計 47 人が参加しました。例年は学習と活動交流を行っていますが、今年は新型コロナウイルス感染防止のため、女性と相続に関する学習のみの開催としました。



- (2) 日時：2020年9月7日（月）13時30分～15時00分
会場：さいたま共済会館 501・502
テーマ：「女性と相続 ～何でも夫名義？つれあいの権利って～」
講師：埼玉中央法律事務所 弁護士 堅十萌子さん
参加：13 団体 47 人

エコ生活ガイド草加、埼玉県西部地区消費者団体活動推進世話人会、さいたま市消費者団体連絡会、志木市くらしの会、埼玉県地域婦人会連合会、新日本婦人の会埼玉県本部、埼玉県生活協同組合連合会、埼玉母親大会連絡会、埼玉消費者被害をなくす会、コーペル、生活協同組合コープみらい、パルシステム埼玉、埼玉県消費者団体連絡会

2. 報告の内容

- (1) はじめに、「こんな経験はありませんか」として、ふだんの生活の中に根付いている男女差による事例と、その背景となる大日本帝国憲法での女性の人権について説明されました。
- (2) 次に、日本国憲法でようやく認められた女性の権利について具体的に話され、それでも日本のジェンダーギャップ指数は世界で 121 位と G7 ではダントツ最下位という現状の問題にも触れられ、憲法や法律は変わっても、依然として男女含めて意識改革が進んでいない現状が明らかになりました。誰もが安心して弱者になっても生きていける社会にするために、憲法 25 条と生活保護費の関係についてもきちんと理解することが大切だと話されました。
- (3) 最後に、長年培われた意識、社会、常識を変えることはとても大変だけど、私たちから変えていって、未来につないでいきたいと呼びかけられ、講演を終了されました。

3. 参加者の声から

心に残ったこと：女性の地位の低さ、生活保護費は国が見た国民の価値を金額化したものであること/生活保護費が最低賃金や年金と関係があるとは思っていなかった・女性の人権が憲法とつながっていることを実感したが、一方で“家”の考え方が根強く残っているのも現実だと思った/無意識で不平等を受け入れている自分に気づいた

4. 今後に向けて

- (1) 今回は参加者の安全を第一に学習のみとしましたが、何らか交流できるような組み立てを検討していきます。
- (2) 今年は実出席での開催としましたが、今後はオンライン参加も含めて検討します。

第56回埼玉県消費者大会

10月16日（金）10時30分～ 埼玉会館

第6回実行委員会報告

第4号 （9月15日発行）

実行委員会事務局（県生協連内）

電話 048-844-8971

Fax 048-844-8973

Mail: shodanren@saitama-k.com

開催日時 2020年9月15日（金）13時30分～15時00分
 開催場所 市民会館うらわ 705・706 会議室
 出席者 20人(18団体) 事務局2人

【議題】

1. 第5回実行委員会報告…確認しました

2. 大会内容関連

(1) 当日の流れその他確認

- ・流れと役割分担について…確認しました。当日の集合は10時とし、大会終了後、11/27の埼玉県との懇談のすすめ方について打合せすることとしました。
- ・参加団体名簿について…団体名簿の代表者名を確認しました
- ・DVD・冊子集約状況…現時点での状況を報告し、9月末までに集約することを確認しました



- (2) 基調方向について…最終案を報告し、意見をいただきました
- (3) 埼玉県への要請について…消費者行政の充実に関して、「定期購入に関する被害防止のための特商法の見直しについて意見」を説明し、この件について加筆したことを報告、意見をいただきました
- (4) 大会アピールについて…案を報告し、確認いただきました
- (5) 団体紹介画像、団体紹介文など集約について…修正がある場合、9月末を目安に送っていただくよう願いました

3. 市町村における消費生活関連事業調査について…大会当日ではなく、昨年同様 11/27 第7回実行委員会で配布すること、部数は集約することを確認しました

4. その他ご案内

- (1) 県内消費者団体地区別研修会について…案内し、参加をよびかけました

次回までのお願い（9/30を目安に）FAXもしくはEメールで送信ください

- ① 10/16 第56回埼玉県消費者大会の出席者、②基調報告・埼玉県への要請事項・大会アピールへの意見、④記念講演の内容への要望、⑤団体活動紹介スライドの差し替えの有無⑥団体活動紹介文の修正の有無⑦DVDの必要枚数、⑧大会冊子の必要部数 ⑨市町村における消費生活関連事業調査報告の必要部数（お渡しは11月予定）

埼玉消費者被害をなくす会主催 2020 年度消費者力アップ学習会 Vol.1 開催報告

高齢者施設の選び方 ～お金、契約、入居後のトラブル防止のために～

2020 年 9 月 19 日（土）10 時より、浦和コミュニティセンター第 15 集会室にて、太田 差恵子さん（介護・暮らしジャーナリスト、ファイナンシャルプランナー（AFP））を講師に迎え学習会を開催、会場で 51 名、オンラインで 34 名、計 85 名が参加しました。

【概要】

➤ 高齢期の住まいはどこ？

女性では 2 人に 1 人、男性では 4 人に 1 人が 90 歳まで生きる時代です。生活していく上で困りごとがあれば、まずお住まいの地域の「地域包括支援センター」に相談しましょう。そして、施設介護を選ぶのであれば、立地、施設に何を求めるかについて良く考えて決めることが重要です。



太田差恵子氏

➤ 代表的な介護施設の種類～介護体制の違いを理解しよう～

介護保険施設（特養、老健など）、福祉施設（ケアハウス）、民間（有料老人ホーム、サービス付高齢者住宅など）、地域密着（グループホームなど）がありますが、介護体制、入居できる介護度がそれぞれ異なります。どのようなサービスをやってくれるのか、料金はどのくらいかかるのか、よく確認し、立地や生活、医療と介護など“譲れない条件は何か”を精査しましょう。施設のスタッフが介護してくれるのか、医療体制はどのようになっているのかなど違いをよく理解することが大切です。終の棲家になり得るのか、なり得ないのかも体制によって違いがあります。

重要事項説明書には、パンフレットには書かれていない、施設の具体的な情報が書かれています。施設の情報は都道府県のサイト内の「高齢者施設名簿・情報（施設への入居を考えている方へ）」からも確認することができます。

➤ 焦って決断しない！

実際に見たり電話したりすると、施設のことが見えてきます。入居を決める前に、3～5 か所の施設を見学しそれぞれの施設の特徴や違いを確認しましょう。

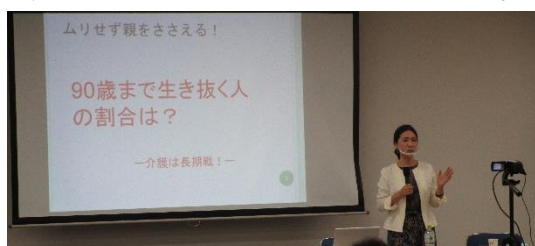
➤ 資金計画を立てる

原則入居する本人のお金で予算の目安を立てます。預貯金総額から前払い金や入院などに備えた予備費を差し引き、100 歳までの年数で割ったものに年金額を足したものが、月々使える金額です。月額利用料のほかに、別途費用がかかります。所得が少ない場合、月々の費用が軽減される施設もあります。

「こんなはずじゃなかった」とならないように、情報収集をぬかりなく！！

【参加者の感想より一部抜粋】

- ネットや本で情報集めをしていますが、直接教えていただきありがたいです。心が軽くなりました。
- 見学の際「看取りについて」も聞くなど具体的にお話しいただき勉強になりました。
- 施設選びの勉強に罪悪感を持つことは全くないという言葉がうれしかったです。
- 施設介護を検討していますが、焦らずにいろいろな施設を見てみようと思いました。
- 5 年、10 年でまた状況も変わるので、定期的にお話を聞けたらと思います。
- 言葉も資料もわかりやすかったです。また先生の学習会があれば参加したいです。



2020 年度 埼玉県生協連 日誌と予定

2020 年 9 月	
1	埼玉県労働者福祉協議会第 2 回企画委員会(吉川) 中央労働者福祉協議会全国研修会【オンライン】(吉川)
2	埼玉県委託事業 埼玉県内生協監事研修・交流会(吉川・加藤)
3	第 2 回常務理事会(吉川・大久保・清水桂・加藤) 南関東地方 LP ガス懇談会(清水勤) 地域包括ケアを推進するためのネットワーク会議(川口)【オンライン】(清水桂)
4	第 12 回彩の国「新しい生活様式」評議会【書面】(吉川) 地域包括ケアを推進するためのネットワーク会議【オンライン】(清水桂)
5	第 28 回適格消費者団体連絡協議会【オンライン】(吉川・清水勤・田中)
7	埼玉県委託事業 県内消費者団体全体研修会(吉川・大久保・清水桂・加藤)
8	第 2 回監事会(吉川・加藤) 埼玉県消費者団体連絡会 9 月度幹事会(吉川・大久保・清水桂) 埼玉県工コ農業推進戦略に係る意見交換会(吉川・大久保・清水桂)
9	埼玉平和市民 5 団体懇談会【オンライン併用】(吉川・大久保・加藤) 第 35 回埼玉県原爆死没者慰霊式第 4 回実行委員会【オンライン併用】(吉川・大久保・加藤)
10	埼玉県環境審議会(吉川) 埼玉消費者被害をなくす会第 2 回活動委員会(清水勤・田中) 地域包括ケアを推進するためのネットワーク会議(川口)【オンライン】(清水桂)
11	地域包括ケアを推進するためのネットワーク会議【オンライン】(清水桂)
14	埼玉母親大会常任委員会(清水桂)
15	第 56 回埼玉県消費者大会第 6 回実行委員会(吉川・大久保・清水桂)
16	ブロードバンドの現状と課題 学習会【オンライン】(吉川・清水桂)
17	第 3 回理事会(吉川・大久保・清水桂・清水勤・加藤) 地域包括ケアを推進するためのネットワーク会議(川口)【オンライン】(清水桂)
18	埼玉県委託事業 助け合い活動交流会(吉川・大久保・清水桂・加藤) 埼玉民主フォーラム 2021 年度埼玉県への予算要望ヒヤリング(吉川・加藤) 無所属県民会議 2021 年度埼玉県への予算要望ヒヤリング(吉川・加藤)
19	埼玉消費者被害をなくす会第 1 回消費者力アップ学習会【オンライン併用】 (吉川・大久保・清水桂・清水勤・田中・加藤)
23	中央地連第 2 回運営委員会【オンライン】(吉川・大久保) 第 2 回県連活動推進会議【オンライン】(吉川)
24	地域包括ケアを推進するためのネットワーク会議(川口)【オンライン】(清水桂)
25	地域包括ケアを推進するためのネットワーク会議【オンライン】(吉川・清水桂)
28	第 1 回彩カフェ in SAITAMA【オンライン】(清水桂)
29	埼玉消費者被害をなくす会第 2 回理事会【オンライン併用】 (吉川・清水勤・田中、陪席：清水桂・加藤) 埼玉消費者被害をなくす会 9 月検討委員会【オンライン併用】(吉川・清水勤・田中)
30	埼玉母親大会常任委員会(清水桂)
2020 年 10 月	
1	中央地連 M C A 無線訓練 フードバンク埼玉理事会・運営委員会 2020 年 PL オンブズ会議報告会「PL 裁判はこうあるべきだ」【オンライン】
2	地方消費者行政プロジェクト【オンライン】
6	こくみん共済 coop セミナー 特定商取引法および預託法の改正に向けた取り組みについて学習会

7	こくみん共済 coop 第 1 回共済代理店等推進会議
8	埼玉消費者被害をなくす会第 4 回活動委員会【オンライン併用】 地域包括ケアを推進するためのネットワーク会議（川口）【オンライン】
9	地域包括ケアを推進するネットワーク会議【オンライン】 適格消費者団体懇談会【オンライン】
14	埼玉県労働者福祉協議会福祉フォーラム 2020
15	第 2 回活動委員会（コープデリ商品検査センター）
16	第 56 回埼玉県消費者大会【オンライン併用】 全国消団連第 3 回理事会【オンライン】
22	埼玉県消費者団体連絡会 10 月度幹事会 埼玉消費者被害をなくす会 10 月検討委員会【オンライン併用】
23	地域包括ケアを推進するネットワーク会議【オンライン】
24	第 2 回協同組合の地域共生フォーラム【オンライン】
28	日本生協連中央地連大規模災害協議会【オンライン】 ACAP 創立 40 周年記念シンポジウム【オンライン】
29	埼玉県労働者福祉協議会第 6 回理事会 埼玉県労働者福祉協議会教育フォーラム 2020
30	関東農政局と埼玉消団連との意見交換会



7/30 埼玉県と埼玉県生協連の第1回定期協議 埼玉県への要望を 提出しました



はじめに、消費生活課課長関口修宏さんよりごあいさついただき、埼玉県からの報告として2019年度生協指導検査実施状況について、訪問販売業者への行政処分についてなど、報告いただきました。生協連からは、「新型コロナウイルス対策および2021年度における埼玉県予算編成ならびに行政執行に関する要望」について、医療生協さいたまや大学生協の厳しい現状に触れながら報告し、その後質疑応答含め懇談を行いました。



9/2 埼玉県内生協監事研修・交流会 監事監査の基本と監査ポイント を学び、交流しました



6生協19人の監事および監事スタッフの参加で、市民会館うらわにて開催しました。日本生協連法務部の土屋良一さんを講師に、監事の基本職務と責務、法的な責任について、さらに実際に監査を行う上で必要な点についてお話いただきました。研修後、グループ交流をおこないました。



9/7 埼玉省委託事業 県内消費者団体全体研修会 「女性と相続 ～何でも夫名義？ つれあいの権利って～」を テーマに学習しました



さいたま共済会館にて、消費者団体など45人が参加、弁護士の豎十萌子さんによる講演を行いました。私たちが、日頃何気なく受け入れている男女差別や偏見、慣習などについて、具体的な例を出しながら、その歴史的背景にも触れながら話をされました。参加者からは「自分らしく生きる力をつけていきたい」などの声がありました。



講師の豎 十萌子さん



写真ニュース

県内生協の活動を写真で伝える情報誌

2020
秋号
No.75

(2020年10月発行)

Top News

8/27

医療生協さいたまへの応援メッセージ・医療物資贈呈式
新型コロナウイルス感染症拡大の危険の中、
奮闘されている医療生協さいたまの皆さんへ
感謝を伝えました



会員生協からの応援メッセージも贈呈しました

医療生協さいたま雪田慎二理事長(左)と
埼玉県生協連吉川尚彦会長理事

医療生協さいたまふれあい会館にて、医療生協さいたまへの応援メッセージと物資支援の贈呈式を行いました。贈呈式では、医療生協さいたま雪田理事長に、医療物資サージカルグローブ11万7,000枚(約40万円相当)の目録および会員生協からの応援メッセージを贈呈しました。

8/28 第1回組合員学習会

初めての完全オンライン学習会を開催、
プラスチック問題について
学習しました



Zoomによるオンライン開催で、「SDGsの国内展開とプラスチック問題」をテーマに、国立環境研究所 田崎智宏さんに講演いただきました。4生協130人が参加、プラスチック問題の解きほぐし方について深く学びました。



講師の田崎智宏さん



参加者からは質問も多く出され、講師から丁寧に説明いただきました

7/26 第35回 埼玉県原爆死没者慰霊式



7月26日(日)、新型コロナウイルス感染防止を最優先に、被爆者やご遺族、来賓、実行委員会団体代表者など56人の参加で開催、式典では、埼玉県内の原爆死没者名簿の奉納、しらせ会田中照巳会長による慰霊のことば、来賓のあいさつ、広島市長・長崎市長のメッセージ紹介、献花・折り鶴奉納と進み、最後に「原爆許すまじ」を会場に流しました。初めてYouTubeライブ配信しました。



しらせ会の田中照巳会長によるあいさつ



埼玉会館小ホールにて開催しました



新型コロナウイルス感染拡大に 対応した取り組みなど



生活協同組合コープみらい

『新型コロナウイルス感染症に負けない！ 緊急応援募金』を贈呈しました

組合員のみなさんからお寄せいただいた緊急応援募金を、「赤い羽根 子どもと家族の緊急支援全国キャンペーン」として埼玉県共同募金会に500万円を、「新型コロナウイルス感染症対策推進基金」として埼玉県に1,000万円を贈呈しました。

コープみらいは、最前線で活動する医療現場、生活課題が長期化・深刻化する子どもやその家族の支援、途上国の子どものための支援のために活用する緊急応援募金を組合員に呼びかけ、5,194万4,577円の募金が寄せられ、千葉県・埼玉県・東京都の医療現場の支援のための寄附金やそれぞれの共同募金会、日本ユニセフ協会に贈呈しました。



「困っている方への橋渡しとして、責任を持ってお届けします」との言葉をいただきました



「組合員の思いの詰まった募金を有効にお使いいただき、ありがとうございます」と大野知事に目録をお渡ししました

生活クラブ生活協同組合 「生活クラブ 福祉活動緊急助成2020」



新型コロナウイルス感染予防対策は社会的弱者を支える市民活動団体の運営を困難にしました。生活に困難を抱える人を心配する組合員の気持ちは高まり、支援団体を至急応援することを目的に、6月に助成先を募集し、月末には県内16市町村の22団体へ総額12,899,500円の助成を行うことができました。

この助成は、生活クラブ埼玉のたすけあいの仕組み（エコロ制度）の会費の一部を積み立てた「地域福祉のための基金」を原資にしています。

生活協同組合パルシステム埼玉

オンライン企画「おうちで うどんをつくっちゃおう!」を開催



7月7日(火)、食育サポーターを講師に、「おうちでうどんをつくっちゃおう!」を行いました。

新たな組合員活動の開催方法を模索するため、オンライン配信形式でのテスト開催となりました。参加者には視聴するアプリを導入、必要な材料の準備をお願いしました。講師が説明しつつ実演し、参加者はそれを画面で見ながら調理しました。課題等を整理しながら、今後の活動に生かしていきます。

医療生協さいたま生活協同組合

お米1合持ち寄り運動 励ましと応援に応え、医療従事者も フードドライブに参加しました



支援物資として提供いただいたガウン

職員は、新型コロナウイルス感染症への対応に使命感を持ちつつも、自らが感染するリスクを抱え、緊張感を持ち続けながら生活しています。そのような中、組合員や220を超える団体・個人からマスクやガウンなどの支援物資の提供に励まされ、支えられてきました。

埼玉協同病院の職員も「地域の一員としてできることに取り組んでいきたい」との思いから『お米1合持ち寄り運動』を行い、31部門から475合が集まりました。

フードドライブやフードパントリーへの 支援が広がっています



生活クラブ生活協同組合

「生活困窮者への米の緊急支援」



埼玉ではフードバンク埼玉を通じて支援

(特葬)でとてが行うフードパントリーへお届け

生活クラブはこれまで各地域で、子ども食堂や生活困窮者支援などの活動を支援してきました。この間の事態を受け、連携する福祉団体との情報交換をもとに、生活に困窮する方々に主食の米を少しでも早く届けることが一番の支援になると判断しました。

長年食の共同購入事業で提携関係にある生産者の協賛を受けることで、独自の物流システムを使い、6～7月にかけて約31トンのお米を全国の生活クラブを通じ、地域のフードバンクや子ども食堂等の生活困窮者支援団体78団体に届けることができました。

生活協同組合コープみらい

県内13カ所でフードドライブを 実施しています



フードドライブ食品寄贈BOX

家庭で保管されたままの食品を寄贈していただく「フードドライブ」の取り組みを4月から新たに3店舗（コープ春日部店、コープ熊谷店、コープ深谷店）で開始、埼玉県内の実施施設は13カ所（組合員施設8カ所、店舗5カ所）となります。

2016年から2020年8月までに4.1トンの食品を提供いただき、お預かりした食品は、「NPO法人フードバンク埼玉」を通じて埼玉県内の福祉施設・団体や生活困窮者へ提供されています。

医療生協さいたま生活協同組合

健康格差をなくそう!フードパントリー開催



健康相談、血圧測定も同時開催

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、子ども(多世代)食堂が開催できない状況が続いています。それに代わり、食料品をお渡しするフードパントリーを9カ所で開催、健康相談も行ってきました。

食材は埼玉県子ども食堂ネットワークをはじめ、企業・団体・組合員の方々からの寄付やボランティア協力を頂き、いのちを支えるネットワークづくりをすすめています。今後も開催していく予定です。

生活協同組合パルシステム埼玉

「ホームステイ応援プチパントリー」に協力



5月29日(金)、埼玉県子ども食堂ネットワークが中心となり、子どものいる家庭に無料で食材を配る「ホームステイ応援プチパントリー」が行われました。学校の休業により活用できなかった食材など24トンを県内85カ所ある支援団体を通じて必要とする家庭へ提供しました。

パルシステムはキャベツや玉ねぎなどの青果を提供したほか、職員が物資の仕分け作業などに協力しました。

埼玉県労働者共済生活協同組合(こくみん共済 coop<全労済>)

交通遺児等への寄附および横断旗の寄贈

埼玉県交通安全対策協議会の「交通遺児支援基金」に13万9400円を寄附しました。

この寄附の取り組みは2016年からスタートし今年で6回目。マイカー共済の新規加入件数に応じて寄附を実施しており、寄附総額は73万6300円となっています。

また、マイカー共済の見積り希望者数に応じて横断旗4,864本を全国私立保育園協会と児童健全育成推進財団へ寄贈しました。



埼玉推進本部金井本部長が感謝状を受け取りました